

日本証券アナリスト協会 個人投資家向けIRセミナーご参加のみなさまへ

## 株式会社島津製作所のご紹介(東証プライム市場：証券コード7701)

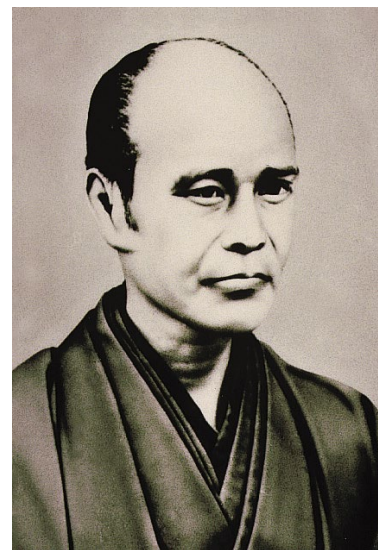
コーポレート・コミュニケーション部IRグループ | 2023年3月17日

# 01 会社概要

# 会社概要

**社是** : 科学技術で社会に貢献する  
**経営理念** : 「人と地球の健康」への願いを実現する  
**島津グループサステナビリティ憲章** : 地球・社会・人との調和を図りながら、“事業を通じた社会課題の解決”と“社会の一員としての責任ある活動”の両輪で企業活動を行い、明るい未来を創造します

**社名・所在地** 株式会社 島津製作所  
 京都市中京区西ノ京桑原町1  
**創業** 1875年（明治8年）3月  
**資本金** 266億円  
**売上高** 4,282億円  
**従業員** 単独3,491名 連結13,499名  
**連結子会社数** 国内23社 海外53社（2022年3月31日現在）



初代島津源蔵  
(1839-1894)

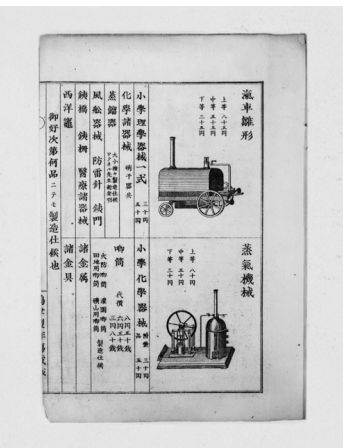


本社・三条工場（京都市）



# 歴史 事業の変遷

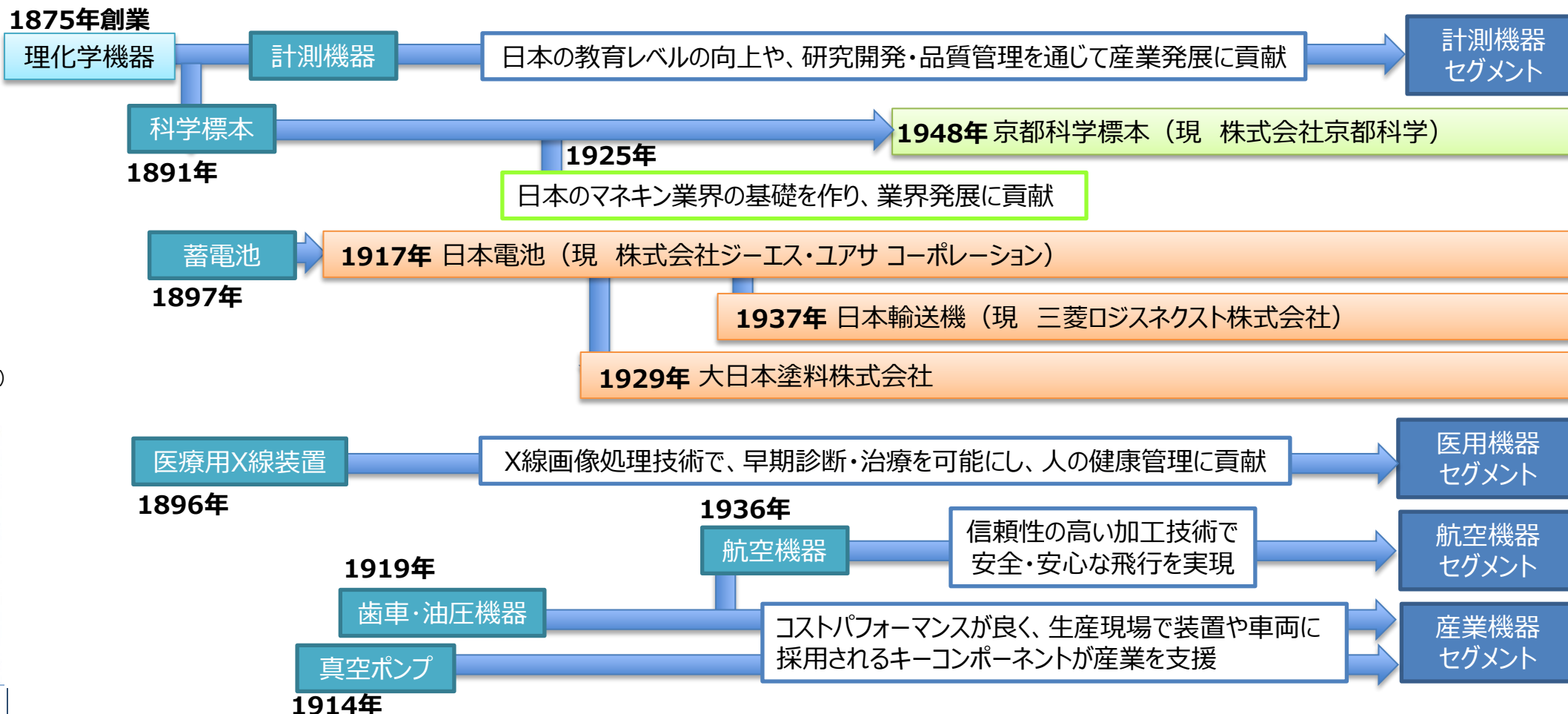
二代島津源蔵は、社会が求める様々なものを形にした。その後変遷を経て、現在の四つの事業セグメント体制へ



理化学器械目録表  
(島津製作所最古の製品カタログ)



二代 源蔵  
(1869-1951)



※(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション、三菱ロジスネクスト(株)、大日本塗料(株)、(株)京都科学はグループ会社ではございません



# 日本初、世界初を生み出す源 ～島津の強み①～

「失敗を避けない」挑戦し続ける文化

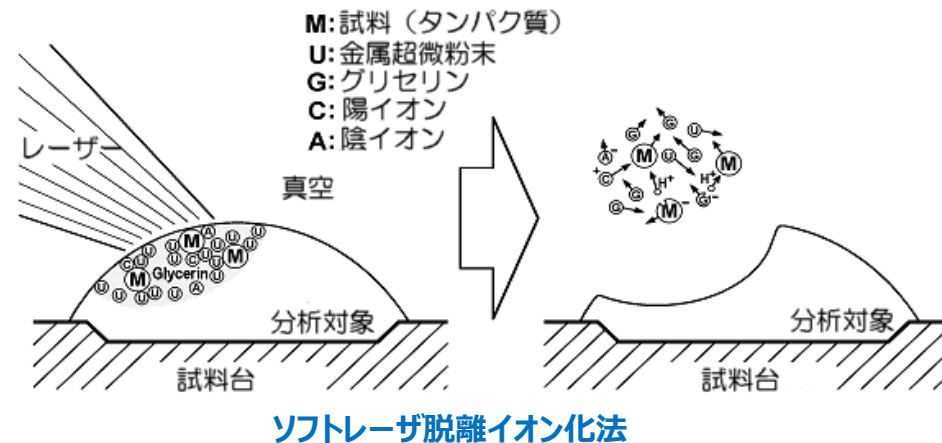
## 贅沢過ぎた電気扇風機



当時の最高技術を詰め込んだが、高級すぎて普及せず・・・

## 偉大なる失敗

- ・試料にグリセリンを誤って混ぜてしまった（失敗）
- ・もったいないので使ったら上手くいった



## 悩み続けた12年間



海外大手企業は絶対無理！と論文発表。しかし12年間かけ、世界初の直接変換式FPD搭載X線画像診断装置を開発

たんぱく質を世界で初めてイオン化することに成功

**2002年田中耕一がノーベル化学賞を受賞**

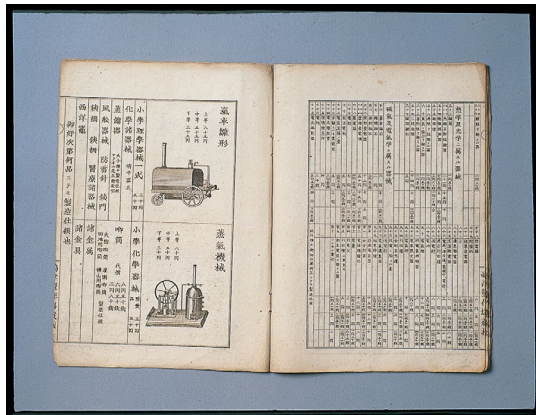
# 日本初、世界初を生み出す源 ~島津の強み②~

時代の潮流を読み取る力

明治初期創業時

戦後の高度経済成長期

平成から令和へ・withコロナ



理化学器械目録

仏具製造から理化学器械メーカーへの転身



ガスクロマトグラフ

石油化学産業を支えた国産初ガスクロマトグラフの開発



新型コロナウイルス検出試薬キット

感染拡大防止のため、PCR試薬と検査装置を開発



全自動PCR検査装置

# グローバル事業展開

25か国に拠点を設け、地域毎に異なるニーズに応える（2021年度の海外売上高比率は53%）

- アプリケーション開発
- 研究・開発
- 主要販売会社
- 製造
- 販売・サービス
- ★ イノベーションセンター



Kratos Analytical Ltd.  
英国分析機器製造工場

ALSACHIM SAS

Shimadzu Middle East & Africa  
UAE Head Office

Shimadzu Analytical(India)  
Pvt.Ltd

Shimadzu (Asia Pacific)Pte Ltd.

Shimadzu South Africa(Pty)Ltd.

Shimadzu Scientific Instruments(Oceania)Pty.Ltd.  
Shimadzu Medical Systems(Oceania)Pty.Ltd

Beijing Shimadzu Medical Equipment Co.,Ltd  
中国医用機器製造工場

Shimadzu Moscow  
Representative office

Shimadzu Europa GmbH

Shimadzu (China)Co.Ltd

SHIMADZU (SUZHOU)  
INSTRUMENTS MANUFACTURING.  
中国計測機器製造工場

Shimadzu Taiwan Industrial Machinery Co.,Ltd.

Shimadzu Manufacturing,Asia Sdn. Bhd.  
マレーシア計測機器製造工場

本社・三条工場（京都市）



Tianjin Shimadzu Hydraulic Equipment Co.,Ltd  
中国産業機器製造工場



Shimadzu Medical  
Systems USA.



Shimadzu Aircraft  
Equipment USA



Shimadzu USA Manufacturing,Inc  
米国分析機器製造工場

Shimadzu Scientific  
Instruments, Inc

Shimadzu Latin America SA

Shimadzu do Brasil Comercio Ltda.

連結子会社 海外53社 国内23社 2022年3月31日現在



# 研究開発体制

- 研究開発から製品・アプリケーション開発まで一貫した体制を構築
- イノベーションセンターを設置し、研究機関・企業・大学との連携を強化

## アプリケーション 技術開発



Shimadzu Tokyo Innovation Plaza  
(2023年1月開所)



イノベーションセンター



アプリケーション  
開発センター

ニーズ

特許保有件数  
**6,776件**  
(うち国内3,917件、  
海外2,859件)

研究開発費  
**163億円**  
対売上高比率4.0%

製品・サービス  
の提供



## 製品・ サービス開発



ヘルスケアR&Dセンター



英国

Kratos



中国

開発センター

基礎研究



田中耕一記念  
質量分析研究所



研究所

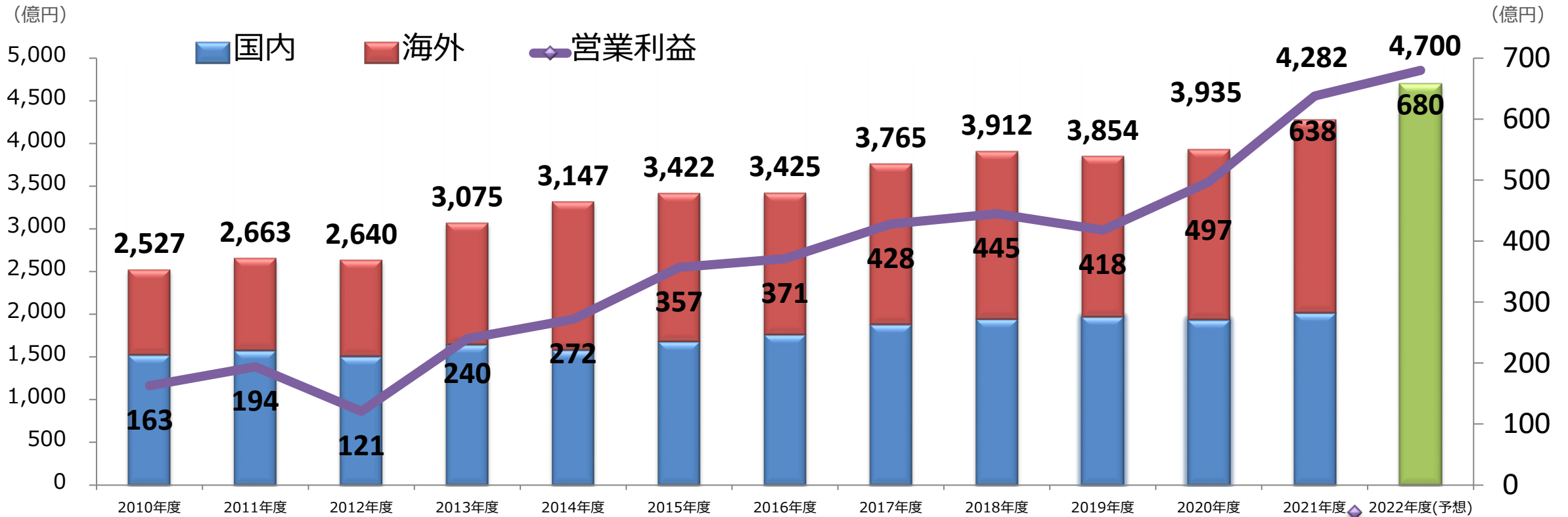
## 基盤技術研究



SHIMADZU 未来共創ラボ

## 売上高・営業利益推移

- 10年間の年平均成長率は、売上高5%、営業利益12%
- 2022年度も3期連続過去最高の売上高、営業利益を目指す



## 02 事業概要

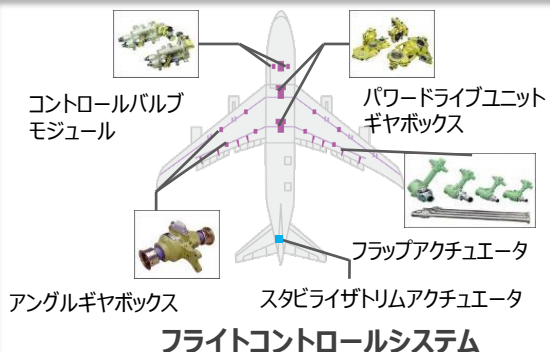


# 4つの事業セグメント

計測・医用・産業・航空の4つの事業を展開

## 航空機器

最先端の搭載機器を提供し、「安全・快適、負荷軽減」に貢献



## 産業機器

高性能なキーコンポーネントを提供し、最先端のものづくりの発展に貢献



## 油圧ギヤポンプ



## 計測機器

分析計測機器を提供し、様々な分野で、研究や技術開発、品質管理に貢献



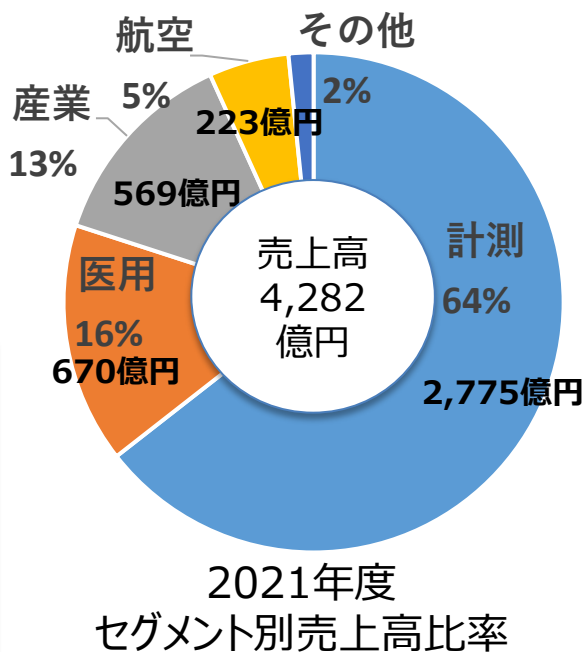
高速液体クロマトグラフ質量分析計

## 医用機器

X線画像診断装置を提供し、人の健康の維持・向上に貢献



血管撮影システム Trinias



# 計測機器事業①

- 見えないものをみる（見る・観る・診る）、測る
- 最先端の分析技術でヘルスケア、マテリアル、環境・エネルギーなど様々な分野での研究開発・品質管理に貢献

## ヘルスケア

- 認知症・がん・生活習慣病などの早期診断等、人々の健康維持に貢献
- 新薬開発や生産性向上に貢献
- 残留農薬など、規制対応による食の安心・安全の確保に寄与
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に貢献



液体クロマトグラフ  
質量分析システム



液体クロマトグラフ



ガスクロマトグラフ

全自動PCR  
検査装置



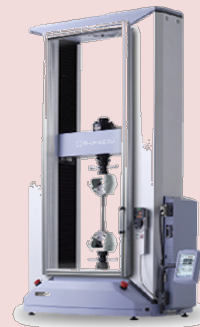
新型コロナウイルス検出試薬キット



## マテリアル

- 各種材料の強度試験や、非破壊での内部状態解析など、新素材開発に貢献

超音波光  
探傷装置



精密万能  
試験機

## 環境・エネルギー

- クリーンエネルギー技術開発に役立つシステム・アプリケーションを提供し、脱炭素化社会実現に貢献

オンライン全窒素・  
全リン計



エネルギー分散型蛍光X線分析装置  
EDX-LE

# 計測機器事業②

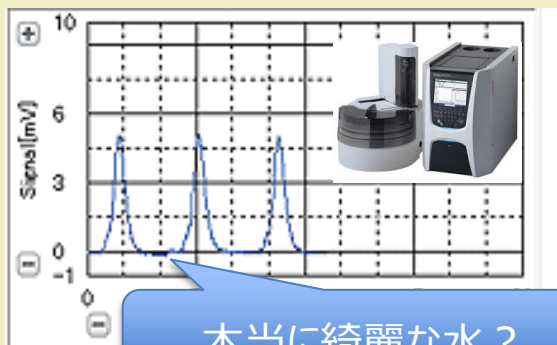
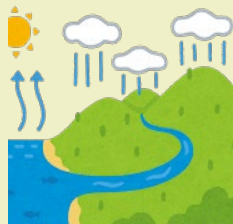
身近で活躍する島津製品





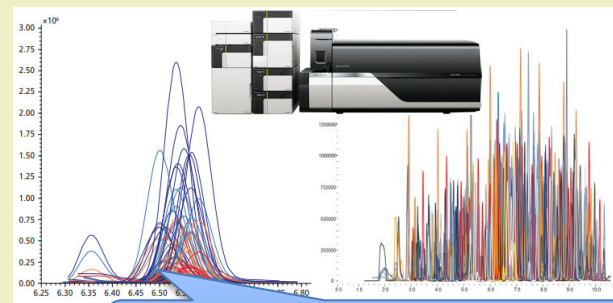
身近で活躍する島津製品

水



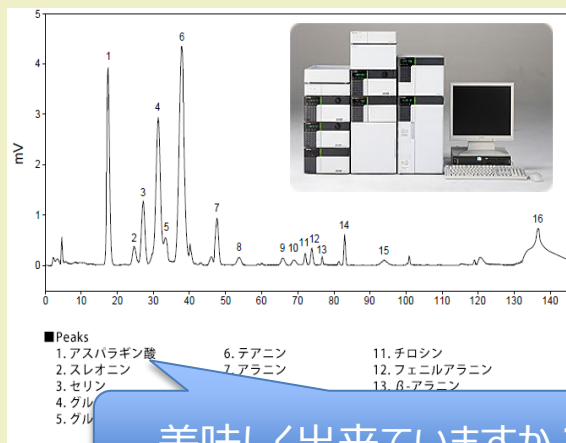
本当に綺麗な水？

茶葉



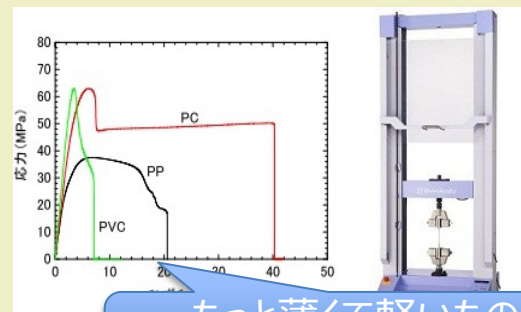
農薬が残ってませんか？

お茶



美味しく出来ていますか？

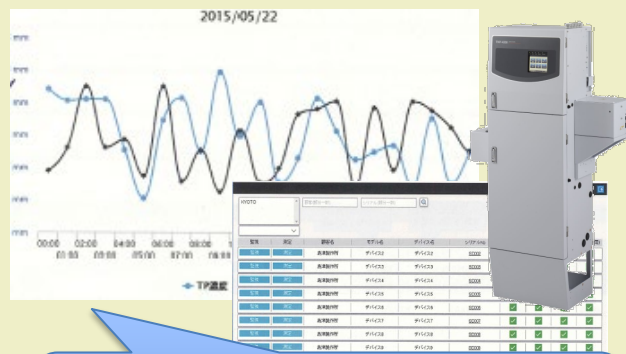
容器



もっと薄くて軽いものが  
できませんか？

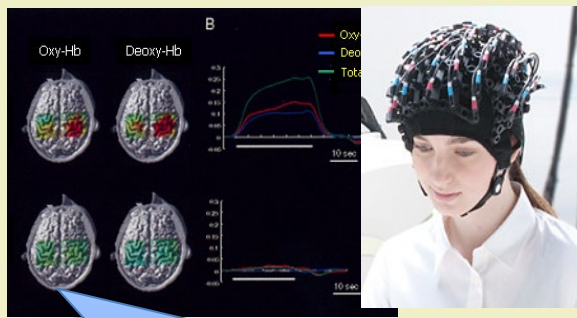
身近で活躍する島津製品

## 排水



お茶を作った後に出てくる排水は大丈夫？

## 飲用者



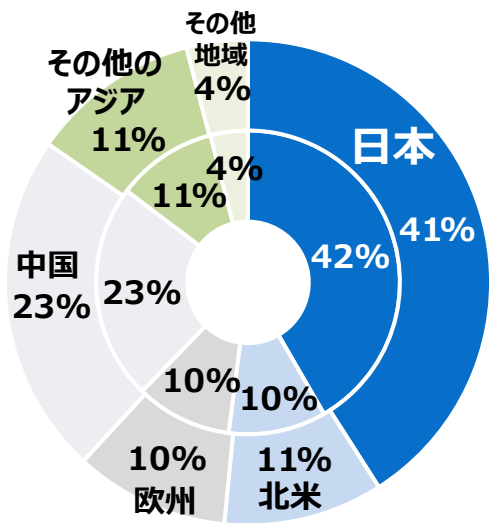
お茶を飲むと、健康に対してどんな効果があるの？

このように「**見えないもの**」を「**見えるようにする**」ことで、人の健康、安心・安全や産業の発展を支えています。

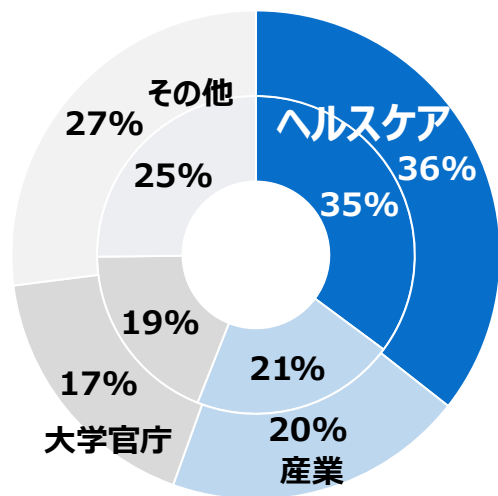
# 計測機器事業⑤

- 売上高、営業利益・営業利益率いずれも過去最高を更新（2021年度）
- 製薬・ライフサイエンスでの活発な投資を背景に液体クロマトグラフ・質量分析計等の重点機種と消耗品、サービス・メンテナンスなどの収益性の高いアフターマーケット事業を拡大

地域別売上比率

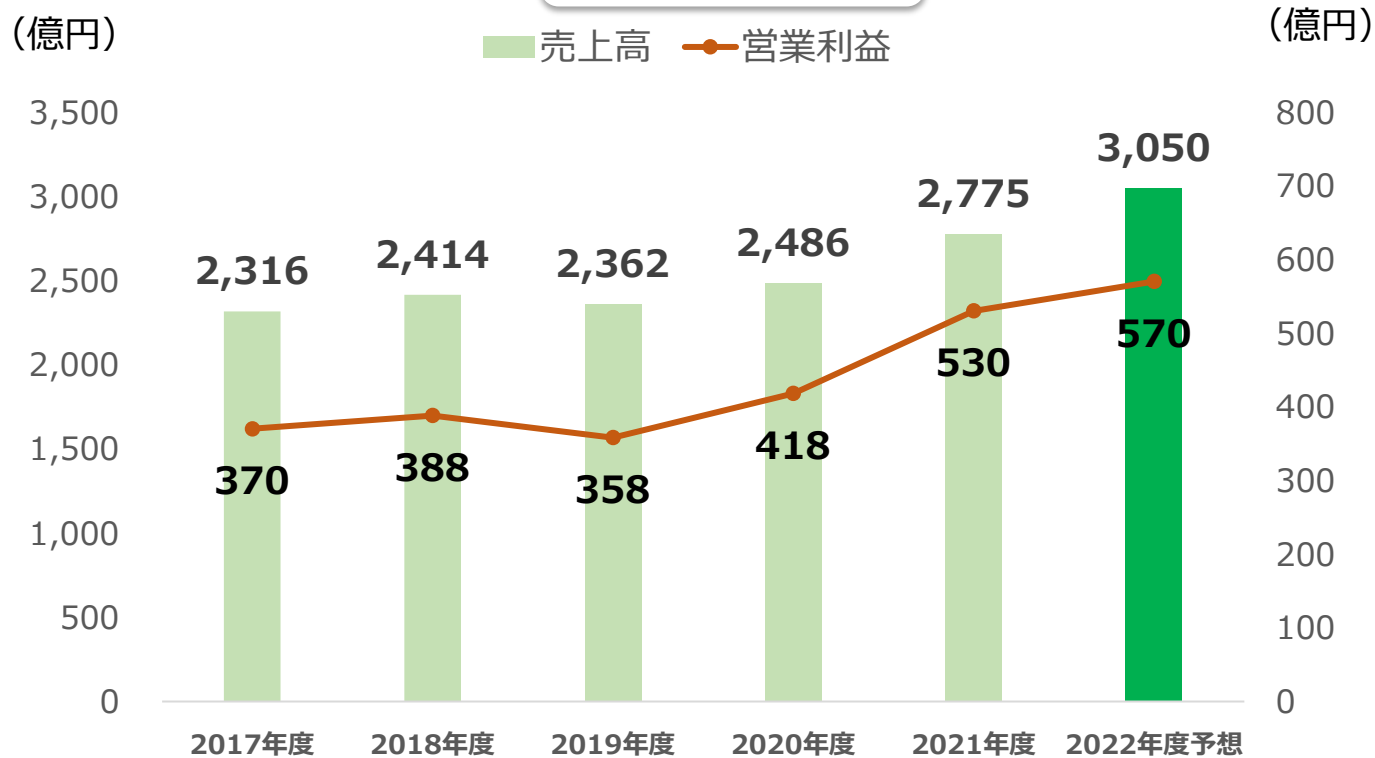


市場別売上比率



※円グラフ外側は2021年度実績、内側は2020年度実績を示す

業績推移





# 医用機器事業

- 最先端のイメージング技術で、患者負担が軽く使用しやすい医療システムを提供
- 感染症や脳/心疾患、がんなど様々な疾患の早期発見、早期治療に貢献

## 骨折や肺炎など全身のX線画像診断に使用



一般撮影システム

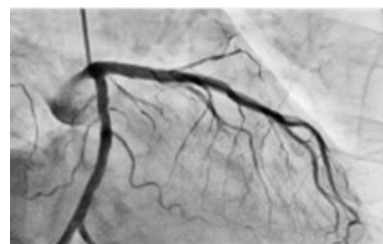
回診用X線撮影装置



## 心疾患・脳血管疾患のカテーテル治療支援



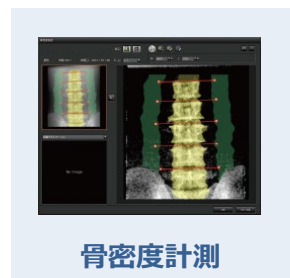
血管撮影システム



## 高齢化で増える内臓・骨疾患の画像診断に対応



X線TVシステム



骨密度計測

## 心の病の診断や脳卒中リハビリテーションで活躍

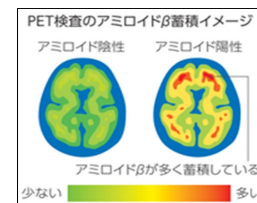


近赤外光イメージング装置

## 頭部・乳房に特化した世界発のTOF-PET装置



TOF-PET装置

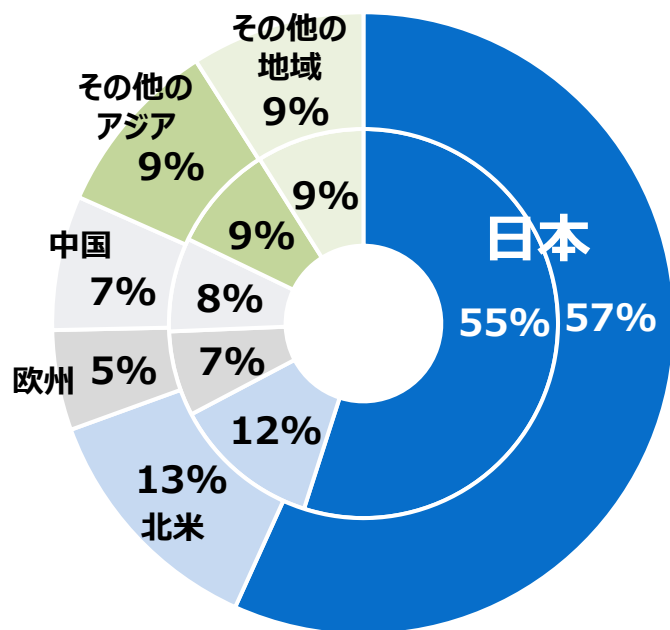


これ1台で頭部・乳房両方の検査ができるだけでなく、より正確ながん（頭部・乳房）や認知症の検査が可能

# 医用機器事業

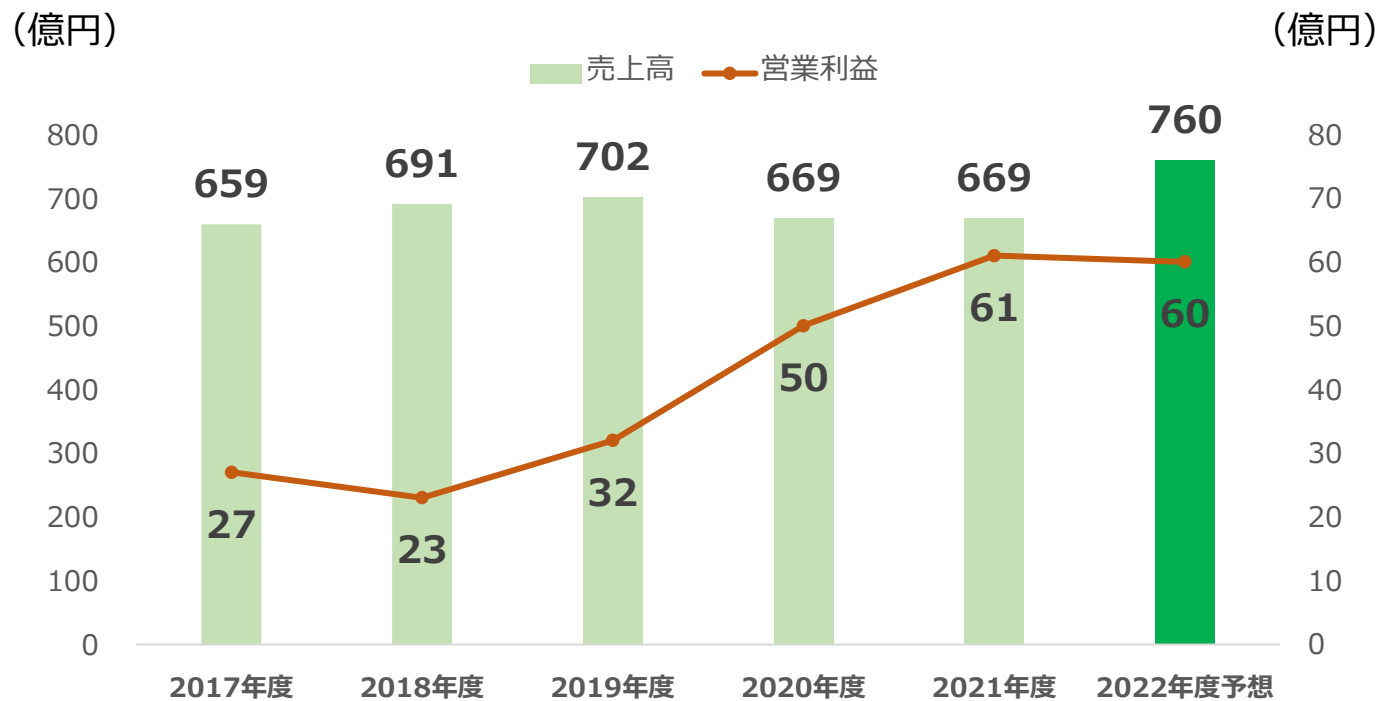
- 営業利益は過去最高を更新（2021年度）
- 2022年度は画像処理やAI技術などソフトウェアのサブスクリプション事業を展開し、アフターマーケット事業を強化

地域別売上比率



※円グラフ外側は2021年度実績、内側は2020年度実績を示す

業績推移



# 産業機器事業

- 半導体製造装置向けや、エコガラス・薄膜太陽電池等のコーティング向けが牽引し、ターボ分子ポンプが好調に推移
- 油圧機器がフォークリフト・建機などの市況回復により、日本・北米・中国で増加

## 半導体、エコガラス、薄膜太陽電池の製造に

真空環境を創りだす、高性能ポンプ  
主に半導体製造装置に搭載

ターボ分子ポンプ

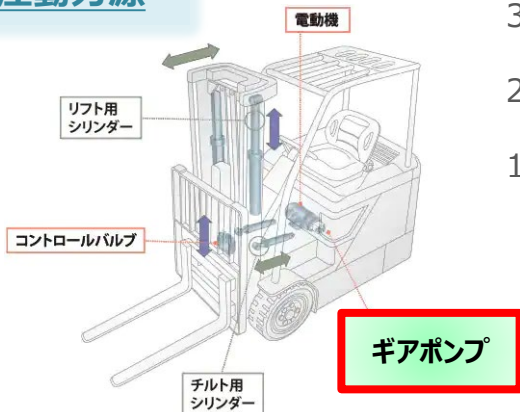


## 産業車両・建機・農機の油圧動力源

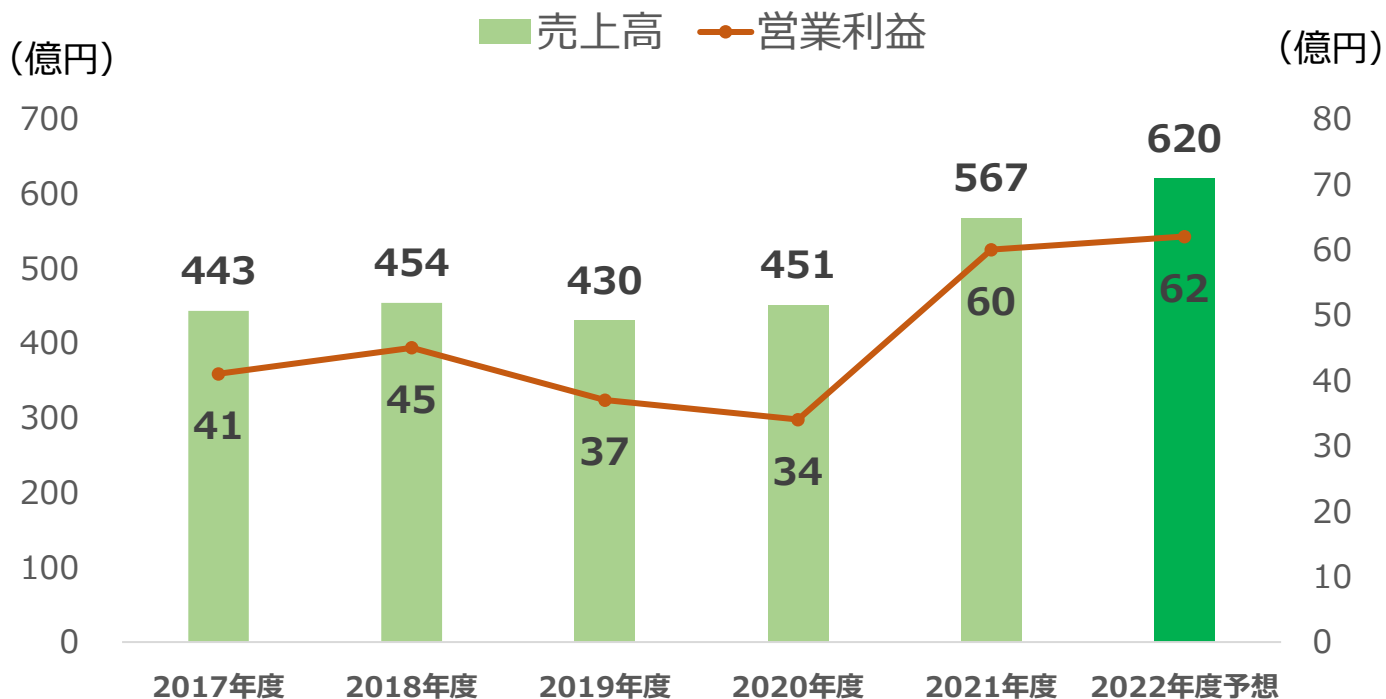
油圧ギアポンプの  
低騒音・低振動を実現



油圧ギアポンプ



## 業績推移



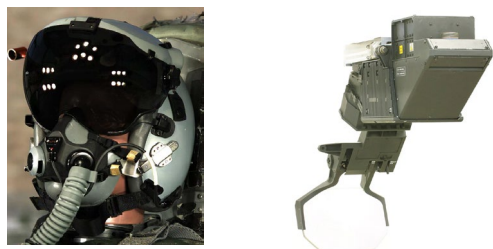
# 航空機器事業

防衛省向けと民間航空機市場向けに展開（防衛：民間＝8：2）

エアマネジメントシステム



ディスプレイシステム



パワー・ドライブ・ユニット・ギヤボックス

パワー・ドライブ・ユニット・ギヤボックス



コントロール・バルブ・モジュール

コントロール・バルブ・モジュール



スタビライザ・トリム・アクチュエータ



フラップ・アクチュエータ

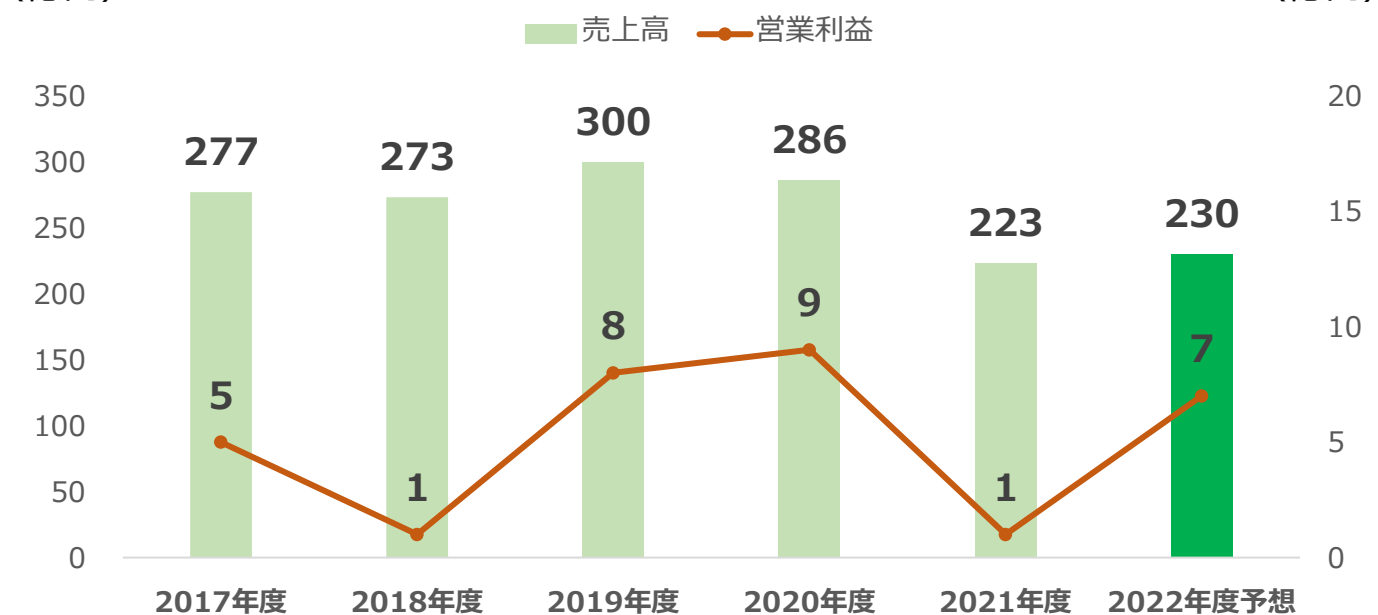


アングル・ギヤボックス



## 業績推移

(億円)



(億円)

20

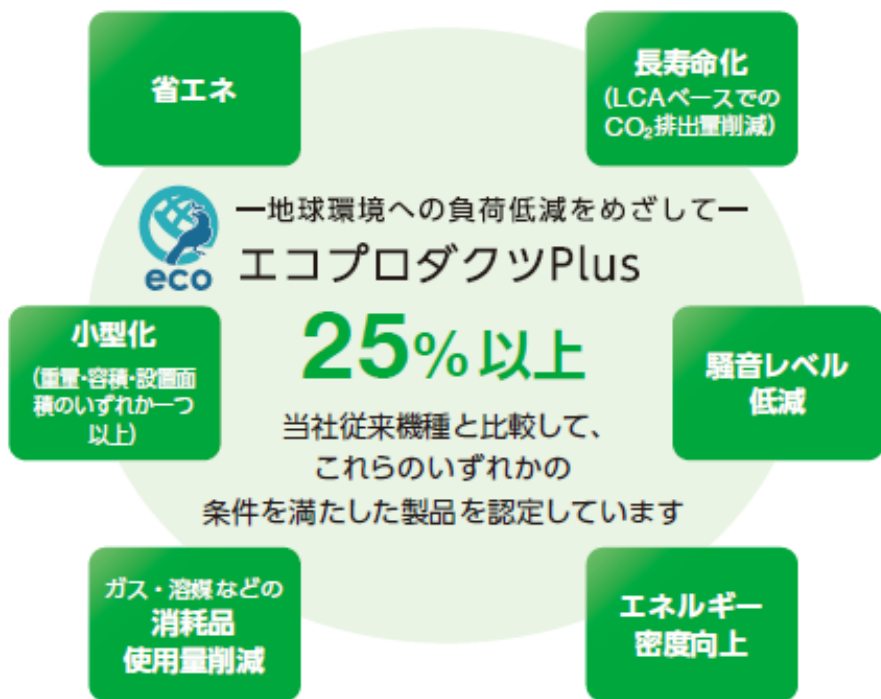


## 03 ESGの取り組み

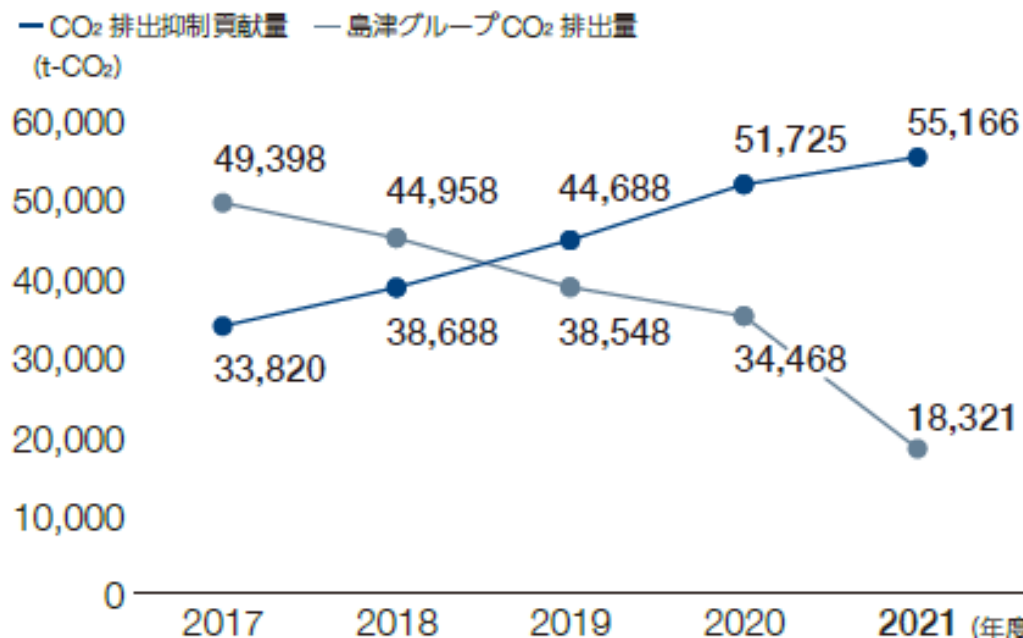
ESGの取り組み

# 「すべての製品のエコ化」を推進

- 地球環境の保全に配慮した製品・サービスの開発・提供を推進
- 2030年度までに製品売上高の30%を環境配慮認定製品エコプロダクツPlusとする



島津グループ(国内外)CO<sub>2</sub>排出量とCO<sub>2</sub>排出抑制貢献量



エコプロダクツPlus認定商品

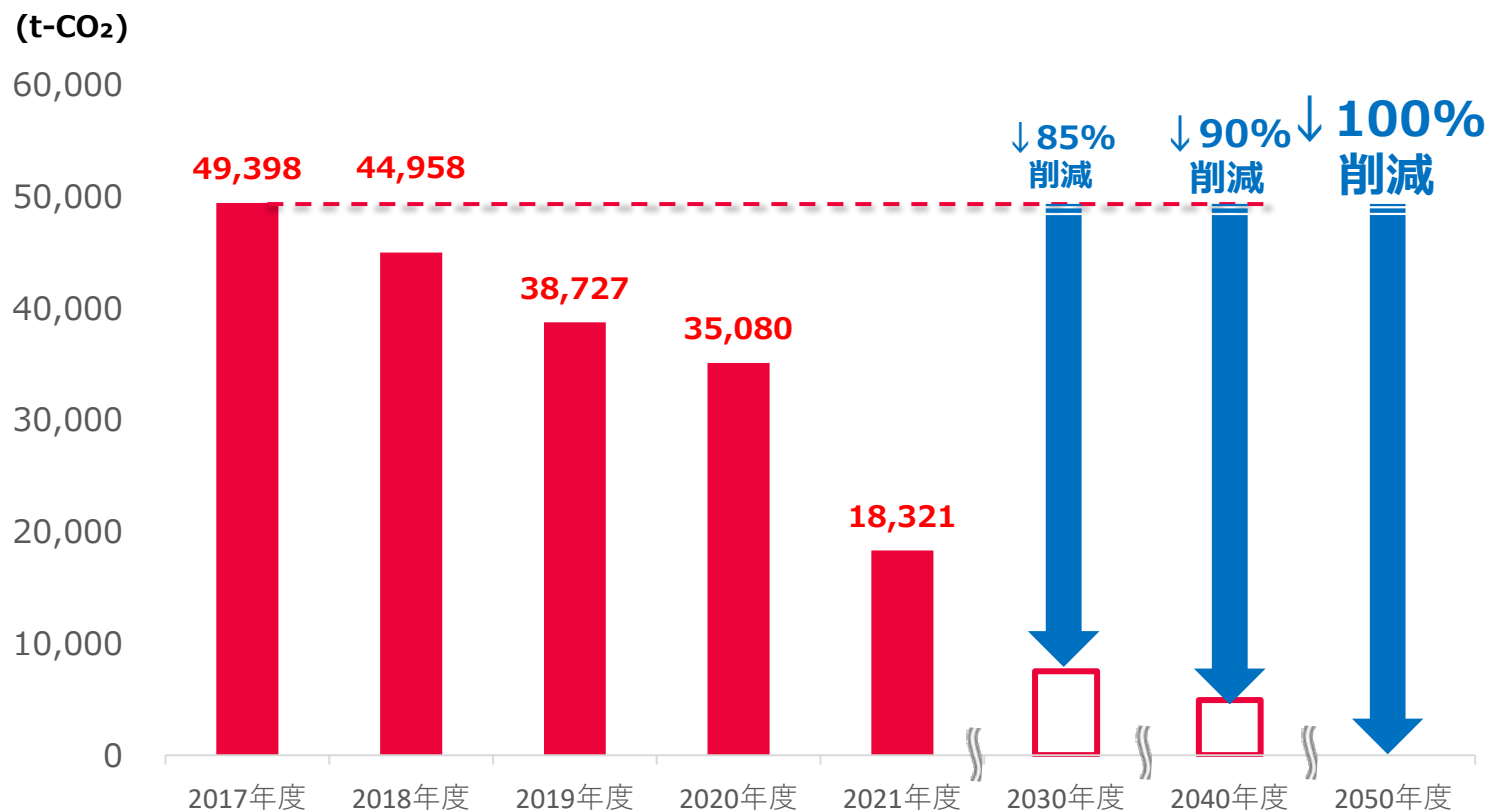


優れた環境配慮認定製品エコプロダクツPlusを提供し、当社のCO<sub>2</sub>排出量と、CO<sub>2</sub>排出抑制貢献量とのトレードオフを実現

# 事業における環境負荷低減「CO2排出量の削減」

- 2022年3月に新たなCO2排出量削減目標を設定。2050年にCO2排出量実質ゼロとする(2017年度比)
- 中間目標として2030年度に85%以上、2040年度に90%以上削減

島津グループの事業活動によるCO2排出量



2019年5月：TCFD宣言への賛同



2021年3月：RE100を宣言

RE100

CLIMATE GROUP



2022年2月：

「サプライヤーエンゲージメントリーダー」に選定



2022年10月：SBT認定を取得



SCIENCE BASED TARGETS

ESGの取り組み

# カーボンニュートラル実現への取り組み

再生可能エネルギーや、自動車・蓄電池関連の技術開発・品質管理に貢献

## 水素発電関連

幅広い検査技術で安心・安全な設備保全とエネルギーの安定供給に役立っています



水素タンクの  
非破壊検査  
超音波光探  
傷装置

燃料電池の触媒の評価  
ポータブルガス分析計



## バイオ燃料発電関連

バイオ燃料の開発・品質管理や燃焼効率向上など、再生可能エネルギーの安定供給を守っています。



バイオガスの成  
分分析  
システムGC



木質燃料チップの含水率測定  
電子式水分計



## 自動車・蓄電池関連

分析計測技術で環境に優しい次世代モビリティ社会の実現に貢献しています。



部品内部の構造観察  
マイクロフォーカスX線CTシステム

電極材料の解析  
リチウムイオン電池  
正極材料向け  
化学結合状態解析システム



## 洋上風力発電関連

複合材料用製造装置や検査装置で、安心・安全なエネルギーインフラの構築に貢献しています。



部品の強度検査  
精密万能試験機

回転羽の強化用ガラス  
繊維の製造  
ガラスワインダ





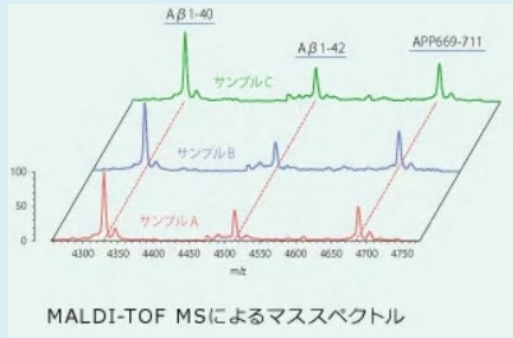
## 分析技術：質量分析計を用いて血液一滴からアルツハイマー病原因物質といわれるアミロイドβの分析手法を確立

### アミロイドβの蓄積度合いを推定する分析方法



血中アミロイドペプチドシステム「Amyloid MS CL」

アミロイドβの  
脳内異常蓄積と  
相関性がある、  
バイオマーカー  
を発見



## 医用技術：頭部・乳房に特化した世界初のTOF-PET装置「BresTome」

- 近畿大学医学部と臨床研究を開始(2020/10/26～)
- モードを切り替えることで、1台で頭部と乳房の両方を検査することが可能
- より正確ながん（頭部、乳房）および認知症の検査が可能



頭部撮影モード



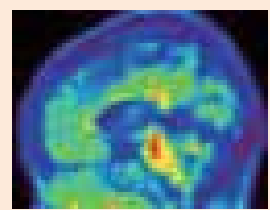
乳房撮影モード

### BresTome画像

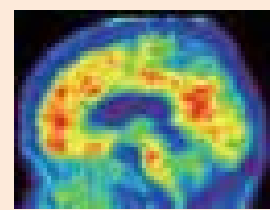


### BresTomeによるアミロイドPET画像

#### 陰性症例



#### 陽性症例

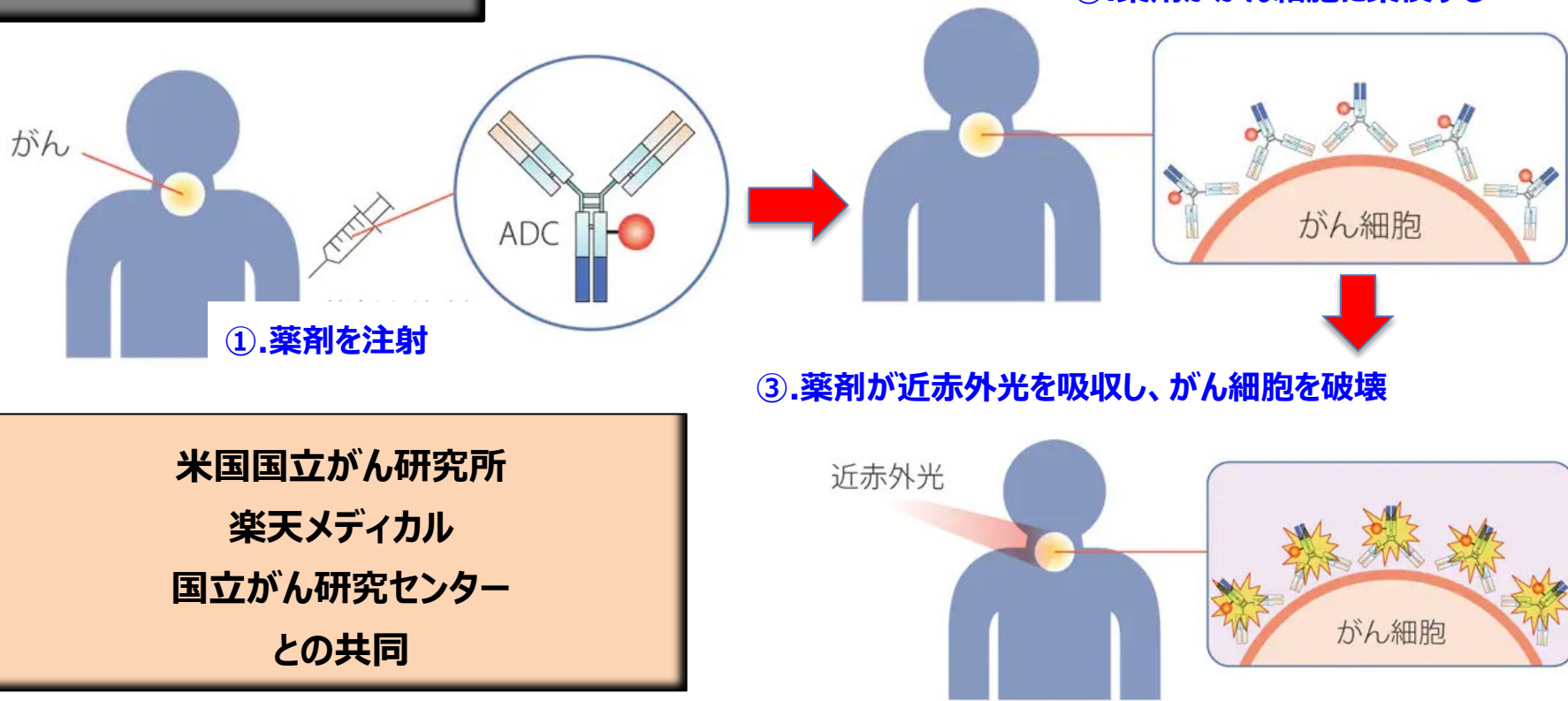


黄・赤の部分が多いほど、アルツハイマー病の原因物質と考えられているアミロイドβの蓄積が顕著

データ提供：近畿大学高度先端総合医療センターPET分子イメージング部様

- 薬剤が結合したがん細胞に、近赤外線を当てるとがん細胞が死滅
- 他のがん治療と比べて、患者への負担が少ない

がん光免疫療法の流れ



米国国立がん研究所  
 楽天メディカル  
 国立がん研究センター  
 との共同

がん光免疫治療装置



# ESGの取り組み ダイバーシティ

- ダイバーシティは科学技術を生み出す源泉
- なでしこ銘柄に6年連続、ダイバーシティ経営企業100選に選定

## ダイバーシティ推進

### なでしこ銘柄（東証、経済産業省）

「女性活躍推進」に優れた上場企業として  
当社は6年連続で選定されました

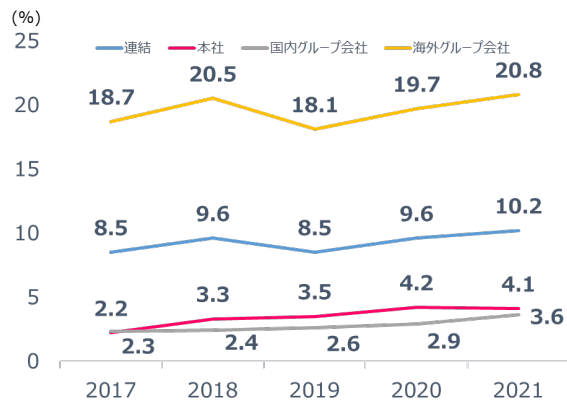


### 新・ダイバーシティ経営企業100選（経済産業省）

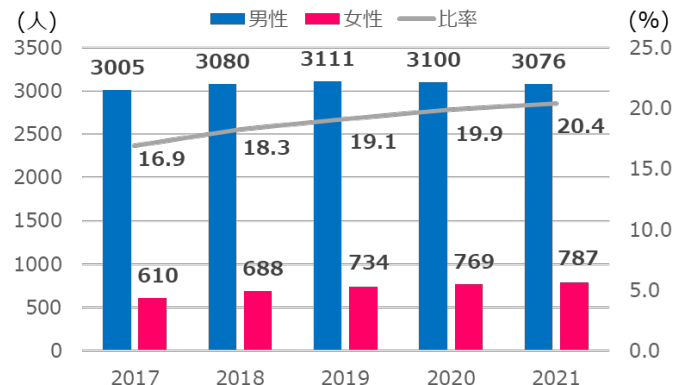
多様な人材の能力を生かし、中長期的に  
企業価値向上を実現している企業24社を表彰



女性管理職比率



女性社員比率



## ダイバーシティに関するKPI 2021年4月1日～2026年3月31日

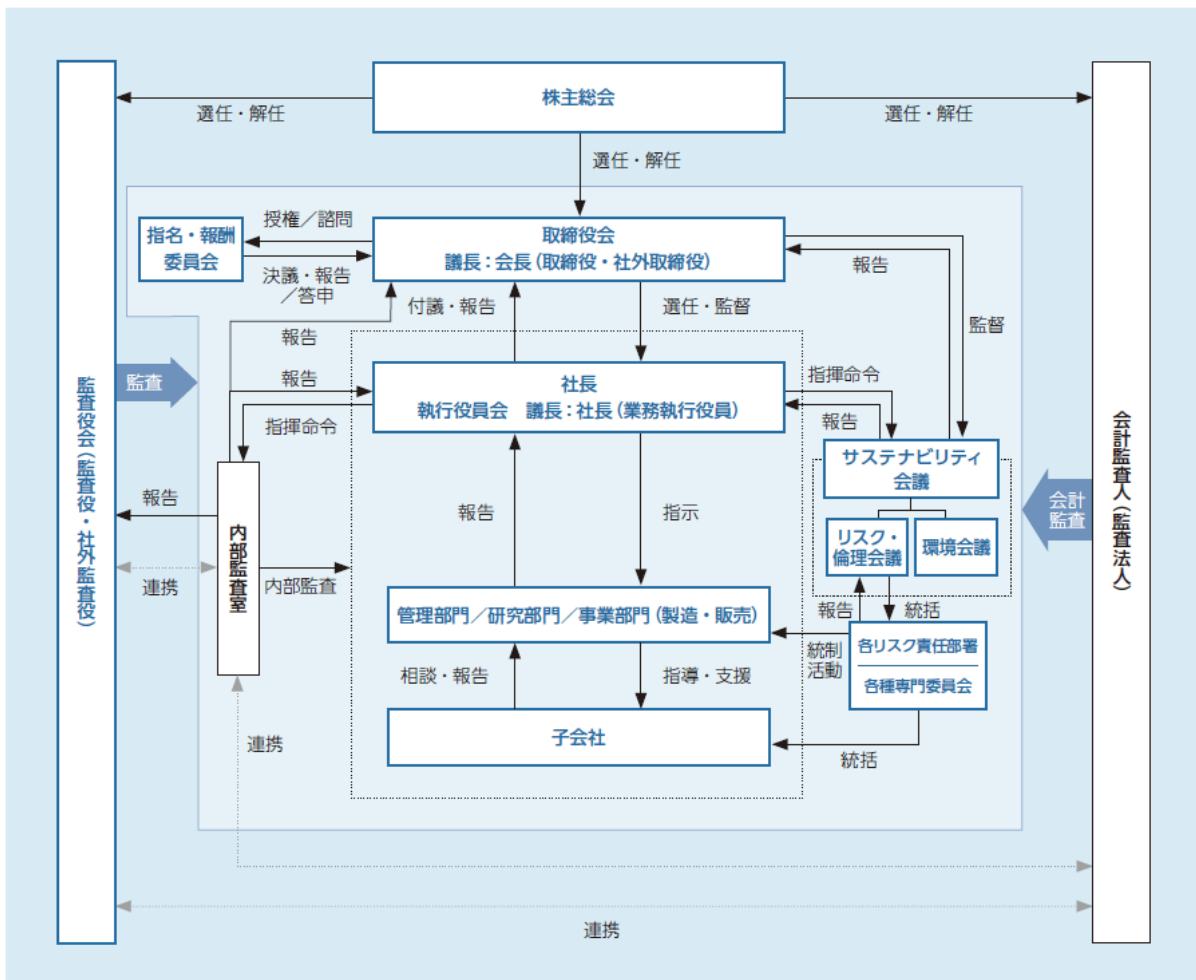
	目標値 (2025年度)	2021年度
女性管理職比率	6%以上	4.1%
女性正社員比率	30%以上	20.4%
男性育休取得比率	30%以上	20.8%

※ 上記数値は島津製作所単体の数値です。

# コーポレートガバナンス

取締役会は多様性のある構成となっており、多角的な視点から議論し、適切な意思決定と監督を実現

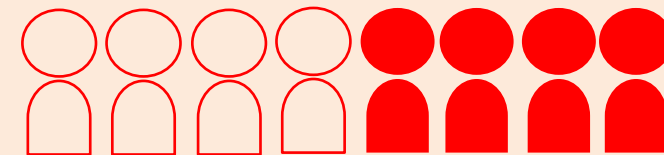
## コーポレートガバナンス体制図



## 取締役会の構成

社内 社外

全取締役8名の1/2が  
社外取締役

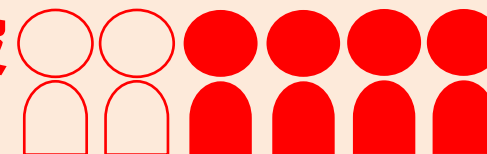


※社外取締役4名のうち、2名が女性取締役

## 指名・報酬委員会

委員長は社外取締役

委員の2/3が社外取締役



※委員6名中4名が社外取締役

## スキルマトリックス

現時点での取締役にとって重要と考える知見・経験を適切に有している方を、役員候補者として指名します。なお、求められる知見・経験は、外部環境や会社の状況を踏まえ、適宜見直しを図ります

※スキルマトリックス紹介ページはこちら

[https://www.shimadzu.co.jp/ir/governance/skill\\_matrix.html](https://www.shimadzu.co.jp/ir/governance/skill_matrix.html)



# 04 株式情報

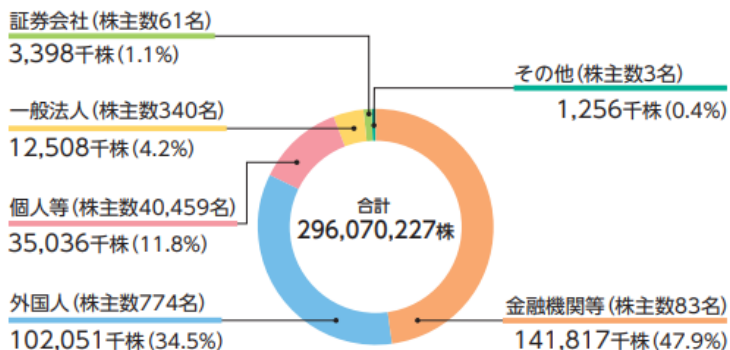
- 東証プライム市場
- 時価総額：1兆1,753億円（2023年3月14日時点）

## 株式の状況(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数：800,000,000株  
 発行済株式総数：296,070,227株  
 株主数：41,720名

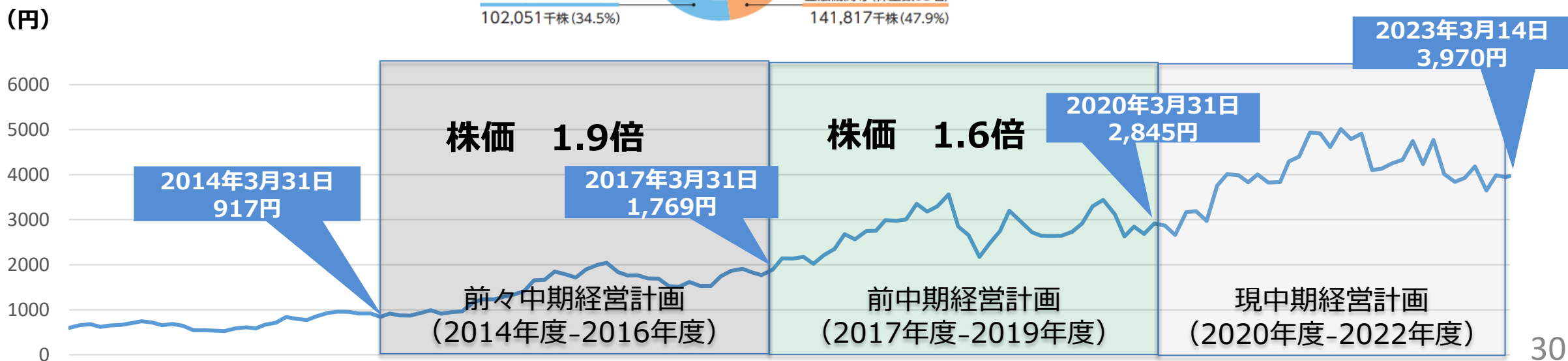
## 所有者別株式分布状況

所有者別株式分布状況



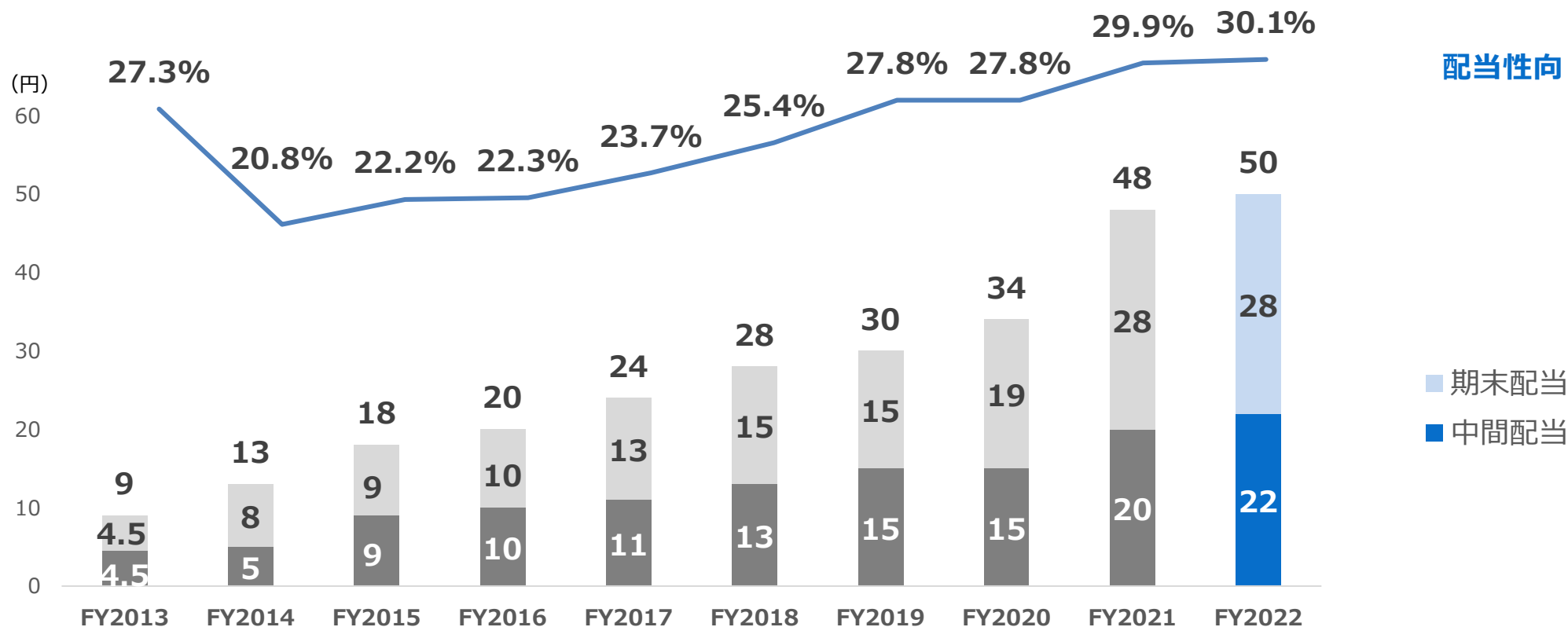
## 2022年初来

高値：4,925円（2022年1月4日）  
 安値：3,570円（2023年1月5日）



## 株主還元

- 方針：研究開発など成長に向けた積極的投資とステークホルダーへの着実な還元を実施
- 配当：2021年度 中間20円、期末28円 年48円 予想より7円増配  
2022年度 中間22円、期末28円 年50円 9期連続増配予定



# 社外からの評価

- GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用するESG指数へ選定
- 環境に対する様々な取り組みや、ステークホルダーとの対話の姿勢が評価されました

## GPIF採用のESGインデックスへの組み入れ

GPIFが採用している次の4つのESGインデックスに採用

- ・MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- ・MSCI 日本株女性活躍指数
- ・S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- ・FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

## 環境への取り組みに対する評価

**CDPスコア：気候変動B 水セキュリティB**

### エコ・ファースト企業

先進的な環境保全の取り組みが評価され。精密機器業界で初めて、環境大臣より認定されました。

### ハビタット（JHEP）評価認証

本社・三条工場内に「島津の森」（8,000㎡）を整備しています。公益財団法人日本生態協会のハビタット評価認証において、最高ランクのAAA評価を取得しています。



## ステークホルダーとの対話姿勢に対する評価

2021年の日本IR協議会  
「IR優良企業賞」を初受賞



## 健康経営に対する評価

### 健康経営銘柄

社員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する企業として選定



### 健康経営優良法人ホワイト500

優良な健康経営の施策を実施している法人として当社は5年連続認定





05 まとめ

# まとめ

## 強み

- ・創業以来、顧客に役立つ製品やサービスを提供し続け、社会課題の解決に貢献

## 事業

- ・主力の計測機器では、液体クロマトグラフ・質量分析計などの開発を強化
- ・ヘルスケア、グリーンイノベーションなどの成長分野に注力

## ESG

- ・脱炭素社会への取り組み(2050年CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ)やアドバンスト・ヘルスケアを通じて、「人の健康」、「地球の健康」に貢献する

## 株主還元

- ・配当性向30.1%。9期連続増配を予定

# 背表紙



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所  
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ  
電話：075-823-1673  
E-Mail：[ir@group.shimadzu.co.jp](mailto:ir@group.shimadzu.co.jp)

# 06 参考資料



## 損益計算書 (4-12月)

## 売上高

前年同期比：+336億円/+11%

3,395億円

## 営業利益

前年同期比：+3億円/+1%

458億円

## 営業利益率

前年同期比：▲1.4pt

13.5%

## 当期純利益

前年同期比：+20億円/+6%

359億円

	単位：億円	第3四半期累計(4月-12月)			前年同期比	
		FY2020	FY2021	FY2022	増減額	増減率
業績	売上高	2,761	3,059	3,395	+336	+11%
	営業利益	327	455	458	+3	+1%
	営業利益率	11.9%	14.9%	13.5%	▲1.4pt	-
	経常利益	325	466	483	+17	+4%
	親会社株主に帰属する当期純利益	236	339	359	+20	+6%
為替	平均為替レート：米ドル（円）	106.17	111.16	136.54	+25.39	+23%
	ユーロ（円）	122.41	130.66	140.63	+9.98	+8%
	研究開発費	108	116	136	+20	
	設備投資額	105	101	178	+77	

減価償却費

129億円

為替影響額

売上高：311億円 営業利益：83億円  
 棚卸未実現利益に対する為替影響がマイナスに作用

# 損益計算書(10-12月)

部品・部材の価格高騰や入手難が継続。加えて中国の新型コロナウイルス感染再拡大の影響を受けた。一方、日水製薬新規連結、PCR試薬キットの需要増、価格改定、さらに為替により増収増益。成長投資は計画通りに実行。当期純利益は、営業外収益の為替差損の影響で減益。

## 売上高

前年同期比：+138億円/+13%

**1,176億円**

## 営業利益

前年同期比：+2億円/+1%

**169億円**

## 営業利益率

前年同期比：▲1.7pt

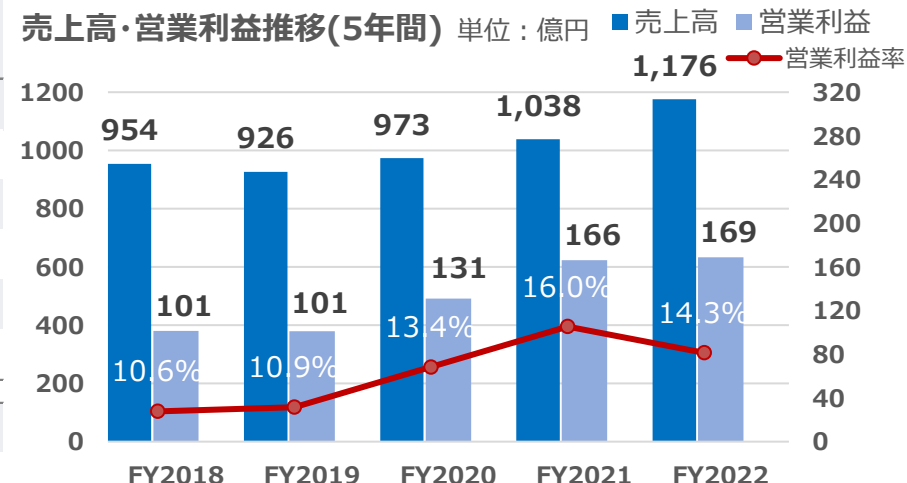
**14.3%**

## 当期純利益

前年同期比：▲20億円/▲15%

**114億円**

業績	単位：億円	第3四半期(10月-12月)			前年同期比	
		FY2020	FY2021	FY2022	増減額	増減率
売上高		973	1,038	1,176	+138	+13%
営業利益		131	166	169	+2	+1%
営業利益率		13.4%	16.0%	14.3%	▲1.7pt	
経常利益		130	173	152	▲21	▲12%
親会社株主に帰属する当期純利益		97	134	114	▲20	▲15%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	104.57	113.77	141.60	+27.83	+24%
	ユーロ(円)	124.57	130.10	144.33	+14.23	+11%
研究開発費		37	41	49	+8	
設備投資額		46	38	57	+19	



### 減価償却費

44億円

### 為替影響額

売上高：115億円 営業利益：32億円  
棚卸未実現利益に対する為替影響がマイナスに作用

## セグメント別損益(4-12月)

単位 億円	売上高					営業利益					営業利益率			
	FY2021	FY2022	増減額	増減率	増減率 (除為替)	FY2021	FY2022	増減額	増減率	増減率 (除為替)	FY2021	FY2022	増減額	
連結	1Q	943	986	+43	+5%	▲3%	124	94	▲30	▲24%	▲39%	13.2%	9.6%	▲3.6pt
	2Q	1,078	1,233	+155	+14%	+3%	164	195	+30	+19%	▲1%	15.2%	15.8%	+0.6pt
	3Q	1,038	1,176	+138	+13%	+2%	166	169	+2	+1%	▲18%	16.0%	14.3%	▲1.7pt
計測機器	1Q	613	618	+5	+1%	▲8%	110	84	▲26	▲24%	▲34%	17.9%	13.5%	▲4.3pt
	2Q	693	797	+104	+15%	+3%	134	155	+21	+16%	+0%	19.3%	19.4%	+0.1pt
	3Q	683	787	+105	+15%	+3%	135	143	+8	+6%	▲9%	19.8%	18.2%	▲1.6pt
医用機器	1Q	145	164	+19	+13%	+7%	9	2	▲6	▲72%	▲93%	6.1%	1.5%	▲4.6pt
	2Q	176	212	+36	+21%	+11%	18	26	+8	+45%	+22%	10.3%	12.4%	+2.1pt
	3Q	148	158	+10	+7%	▲3%	14	9	▲6	▲38%	▲63%	9.7%	5.6%	▲4.1pt
産業機器	1Q	130	147	+17	+13%	+5%	14	13	▲1	▲5%	▲49%	10.6%	8.9%	▲1.7pt
	2Q	138	157	+19	+14%	+4%	13	13	▲0	▲3%	▲63%	9.7%	8.2%	▲1.5pt
	3Q	147	159	+12	+8%	▲0%	17	18	+1	+6%	▲44%	11.8%	11.6%	▲0.2pt
航空機器	1Q	41	48	+6	+15%	+7%	▲4	1	+5	—	—	▲8.7%	2.4%	+11.1pt
	2Q	61	57	▲3	▲5%	▲14%	0	2	+2	+665%	+880%	0.4%	3.6%	+3.2pt
	3Q	49	58	+9	+18%	+8%	3	4	+1	+35%	+48%	5.4%	6.2%	+0.8pt

# 通期業績予想

部品・部材不足の解消に伴い、豊富な受注残の売上転嫁を進めることで、売上高、営業利益ともに3期連続で過去最高更新を目指す

## 売上高

前期比：+418億円/ +10%

**4,700億円**

## 営業利益

前期比：+42億円/ +7%

**680億円**

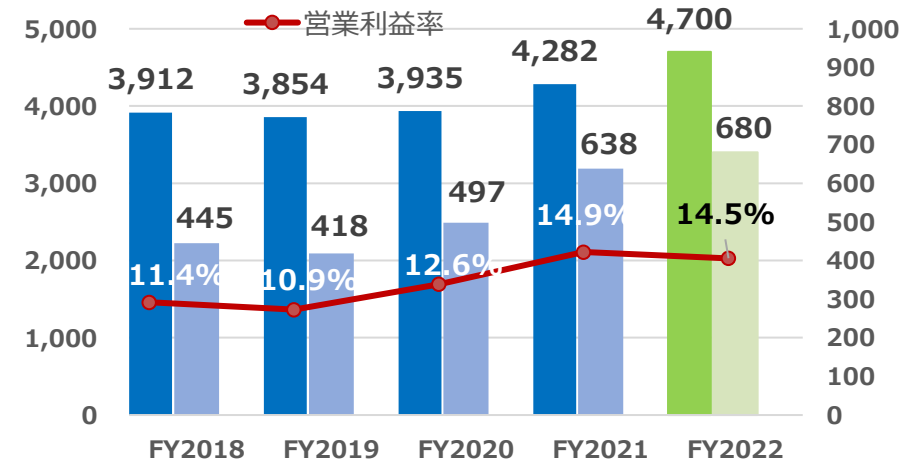
## 営業利益率

前期比：▲0.4pt

**14.5%**

	単位：億円	通期			前期比	
		FY2020	FY2021	FY2022 予想	増減額	増減率
業績	売上高	3,935	4,282	4,700	+418	+10%
	営業利益	497	638	680	+42	+7%
	営業利益率	12.6%	14.9%	14.5%	▲0.4pt	
	経常利益	484	656	680	+24	+4%
	親会社株主に帰属する当期純利益	361	473	490	+17	+4%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	106.11	112.43	130.00	+17.57	+16%
	ユーロ(円)	123.75	130.60	135.00	+4.40	+3%
	研究開発費	157	163	190	+27	
	設備投資額	145	164	240	+76	

売上高・営業利益推移(5年間) 単位：億円 ■売上高 ■営業利益



減価償却費

170億円

為替感応度

米ドル  
売上高：12億円  
営業利益：4億円

ユーロ  
2億円  
0.7億円

**配当金** 中間配当22円（前年20円）年間50円（前年48円）予想から変更なし  
配当性向は30.1%

## 通期セグメント別業績予想

各セグメントにて施策を確実に実行し、目標達成を目指す

## 計測機器：増収増益

売上高 : +10%  
 営業利益 : +8%  
 営業利益率 : ▲0.4pt

- ヘルスケア分野の需要を取り込む
- 新製品を拡販(LCMS-2050、Nexera XS Inert等)
- GX関連事業への取り組みを強化
- アフターマーケット事業の強化

## 医用機器：増収減益

売上高 : +14%  
 営業利益 : ▲1%  
 営業利益率 : ▲1.2pt

- X線TV、血管撮影システムの新製品などを拡販
- アフターマーケット事業の強化

## 産業機器：増収増益

売上高 : +9%  
 営業利益 : +4%  
 営業利益率 : ▲0.5pt

- TMPはコーティング市場向けに拡販
- TMPのアフターマーケット事業を強化

## 航空機器：増収増益

売上高 : +3%  
 営業利益 : 5.9倍  
 営業利益率 : +2.5pt

- 民間航空機向け需要拡大への対応
- アフターマーケット需要を取り込み、採算性改善を図り増益を目指す

単位: 億円	売上高						営業利益						営業利益率			
	FY2021	FY2022 前回予想	FY2022 新予想	前回予想比 増減額	前期比		FY2021	FY2022 前回予想	FY2022 新予想	前回予想比 増減額	前期比		FY2021	FY2022 前回予想	FY2022 新予想	前期比 増減
					増減額	増減率					増減額	増減率				
計測機器	2,775	3,050	3,050	+0	+275	+10%	530	570	570	+0	+40	+8%	19.1%	18.7%	18.7%	▲0.4pt
医用機器	669	760	760	+0	+91	+14%	61	61	60	▲1	▲1	▲1%	9.1%	8.0%	7.9%	▲1.2pt
産業機器	567	620	620	+0	+53	+9%	60	62	62	+0	+2	+4%	10.5%	10.0%	10.0%	▲0.5pt
航空機器	223	230	230	+0	+7	+3%	1	5	7	+2	+6	+493%	0.5%	2.2%	3.0%	+2.5pt
その他	47	40	40	+0	▲7	▲15%	13	10	6	▲4	▲7	▲52%	18.1%	16.7%	10.0%	▲8.1pt
調整額	-	-	-	-	-	-	▲26	▲28	▲25	+3	+1	-	-	-	-	-
合計	4,282	4,700	4,700	+0	+418	+10%	638	680	680	+0	+42	+7%	14.9%	14.5%	14.5%	▲0.4pt



# 主要な経営指標等①

	<u>2019年度</u>	<u>2020年度</u>	<u>2021年度</u>	<u>2022年度(予想)</u> (中期経営計画最終年度)
売上高	3,854億円	3,935億円	4,282億円	4,700億円
営業利益	418億円	497億円	638億円	680億円
営業利益率	10.9%	12.6%	14.9%	14.5%
当期純利益	318億円	361億円	473億円	490億円
EPS	107.84円	122.52円	160.49円	-
ROE	10.8%	11.3%	13.2%	10%以上
PER ※1	26.38倍	32.69倍	26.39倍	-
PBR ※2	2.77倍	3.52倍	3.27倍	-
研究開発費	169億円	157億円	163億円	190億円
配当金	30円	34円	48円	50円
配当性向	27.8%	27.8%	29.9%	30.1%

※1. 各年度最終営業日のPERを記載 ※2. 各年度最終営業日のPBRを記載

# 主要な経営指標等②

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
総資産	4,372億円	4,376億円	4,975億円	5,605億円
純資産合計	2,879億円	3,028億円	3,355億円	3,812億円
自己資本比率	65.9%	69.2%	67.4%	68.0%
営業活動による キャッシュフロー	295億円	395億円	638億円	634億円
投資活動による キャッシュフロー	▲229億円	▲161億円	▲139億円	▲60億円
フリーキャッシュ フロー	66億円	234億円	499億円	573億円
財務活動による キャッシュフロー	▲108億円	▲262億円	▲130億円	▲157億円
設備投資	217億円	177億円	145億円	164億円
減価償却	115億円	133億円	155億円	162億円